

樹

樹

皎

皎

寒

寒

夜

夜

千

千

◎ 五義之の
蘭亭叙、淳化閣帖、
集字聖教序を倣書で
書いています

◎ 倣書とは、古法帖から感じられる
結体結構、性情をもとにして
作品を作ること

皎夜千樹は寒し

清らかな月明かりの夜、すべての木々は
寒々としている。月光に照らし出された
冬の夜の山寺の景を描く

(唐・李羣玉の詩より)